

静岡県地域外交展開

平成 26 年度の重点項目	平成 26 年度の全体評価	平成 27 年度の重点項目
<ul style="list-style-type: none"> 海外進出、販路拡大の機会創出による経済交流の活発化。 世界遺産富士山を活用した観光誘客。 	<ul style="list-style-type: none"> 県内企業の海外展開支援等により、海外事業所等が増加傾向にあるほか、モンゴル工業・農牧業省との経済分野の覚書調印等により、通商促進のための新たな仕組みや関係が構築された。 各国、地域での積極的な誘客活動や相互交流により、県内外国人宿泊者数が好調に推移し、富士山静岡空港からの新規路線が就航する等、交流人口拡大につながった。 	<ul style="list-style-type: none"> 県産品の販路拡大支援や県内企業の海外展開支援、外国企業の県内への投資支援等による通商の促進。 観光誘客と民間交流の促進等による交流人口の一層の拡大。

国・地域	年度	地域外交基本方針の中長期的視点	平成 26 年度の個別評価	平成 27 年度の個別方針
中国	26	30年にわたる浙江省との友好関係を軸とする交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> 「静岡県・浙江省友好交流卓球大会」や「静岡県ー浙江省フォーラム」を開催し、幅広い年代での県省民の交流拡大や健康福祉分野での交流の拡大により、友好関係の一層の深化を図った。 就航先である湖北省へ本県訪問団を派遣するとともに観光プロモーションや民間外交支援事業を実施し、観光誘客や民間交流の拡大を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 浙江省との県民各層にわたる幅広い交流の更なる深化と県産品の販路拡大等による通商の促進を図る。 中国全土に対する本県の情報発信と知名度の向上を目指した中央政府への足掛かりづくりを図る。 湖北省との民間交流の促進による交流人口の拡大と経済活力の取込みを図る。
	27	30年にわたる浙江省との友好関係を軸とする幅広い交流の展開と通商の促進		
韓国	26	民間主体の交流促進と定期便就航の拡大	<ul style="list-style-type: none"> 忠清南道との友好協定に基づき、防災分野における行政間の交流や、民間外交支援事業を通じた民間交流の拡大を図った。 朝鮮通信使ゆかりの清見寺での茶会実施により、日韓両国の歴史を振り返り、国交正常化 50 周年に向けて更なる友好交流への機運を醸成した。 	<ul style="list-style-type: none"> 忠清南道との友好協定に基づく交流推進と、日韓国交正常化 50 周年を契機とした、4 県道の連携による地域間交流の拡大を図る。 家康公薨去 400 年を契機とした要人との関係構築と、観光誘客と民間交流の促進による交流人口の拡大を目指す。
	27	民間主体の交流拡大と定期便利用の促進		
モンゴル	26	将来的な友好関係の基盤となる人材交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ドルノゴビ県との友好協定締結 3 周年を記念し、訪問団の受入れ、演奏会、絵画展等、相互理解の一層の促進と交流拡大を図った。 工業・農牧業省と経済分野の覚書に調印し、商談会の実施や総合食品開発でのそばの試食等、通商の促進を図った。 民間企業と協力し、モンゴルの火力発電に関する人材養成を図ったほか、ドルノゴビ県の高中生や中学生を受入れ、青少年交流を推進した。 	<ul style="list-style-type: none"> 工業・農牧業省との経済分野の覚書に基づき、トッププロモーションなどを通じて、販路拡大や人材養成等による通商を一層促進する。 ドルノゴビ県との友好協定に基づく高校生交流や技術研修員の受入れ等による人材の養成を図る。
	27	幅広い分野での人材交流の推進と通商の促進		
台湾	26	観光誘客と民間交流の促進による交流人口の拡大	<ul style="list-style-type: none"> 本県訪問団を台北マラソンに派遣し、民間団体同士の覚書交換等によるスポーツを通じた民間交流を促進した。 関係者の招聘による教育旅行の誘致や、修学旅行拡大のための現地調査実施により、青少年交流の拡大を図った。 現地でのキャンペーンやバイヤーによる産地見学等を行い、県産品の販路拡大を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> マラソンや友好山提携に加え、新たにサイクリング等の民間を主体とする交流を促進する。 修学旅行等による高校生の相互交流を図るほか、博覧会への出展等による観光誘客と沖縄県物産公社と連携した県産品の販路拡大を図る。
	27	観光誘客と民間交流の促進による交流人口の拡大と通商の促進		
東南アジア	26	経済活力の取込と航空路線の就航促進	<ul style="list-style-type: none"> 本県訪問団をタイへ派遣し、政府観光庁表敬訪問、富士山や緑茶等のプロモーションを通じ、本県の知名度向上を図った。 ビジネスサポートデスクの運営、ビジネスミッション派遣等により、企業の海外展開が促進された。 駐在員事務所の体制強化により、経済分野に加え、観光、教育、スポーツ等幅広い分野での交流を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光連絡・調整員や、政府観光庁との関係を活かした、タイからの観光誘客の促進と定期路線の誘致を目指す。 イスラム圏への取組みとして、インドネシアへのトッププロモーションを実施し、観光誘客、通商、教育・文化交流等を促進する。 技術研修員、ビジネスインターンの受入れ等による人材育成や県産品の輸出等を通じた通商拡大を図る。
	27	経済活力の取込みを図る人材交流と教育、文化等の交流拡大による航空路線の就航促進		
米国	26	地域レベルの連携強化と学術・産業交流の促進	<ul style="list-style-type: none"> カリフォルニア州での日米カウンシル知事会議への参加を通じた日本酒、緑茶等のビジネス展開につながる関係づくりや、ハワイ州でのクリーンエネルギー製品等の出展により、県内企業の米国展開を支援した。 在日米軍の総合防災訓練への参加や、友好の木ハナミズキ植樹等により、米国との連携が一層強化された。 	<ul style="list-style-type: none"> ハワイ州でのクリーンエネルギー分野における県内企業のビジネス展開を支援する。 日米カウンシル知事会議への参加を通じ、米国との経済分野での関係を強化する。 答礼人形「富士山三保子」の里帰り展を開催し、県民の平和に対する意識の高揚を図る。
	27	学術・文化交流、通商の促進と地域レベルの連携強化		
その他地域	27	富士山を活用した本県の知名度向上や、2020 年東京五輪開催等に向けた交流人口の拡大	<ul style="list-style-type: none"> 「駐日大使富士山ツアー」や「在京大使館静岡スタディツアー」の実施等により、各国大使館等を通じて本県の魅力を発信した。 南米からの技術研修員受入れや在外県人会への支援等を通じ、移住者の子弟や県人会とのネットワーク維持を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 国際博覧会への出展等による本県知名度の向上とスポーツを通じた交流の促進を目指す。 在外県人会の周年行事への参加を通じた、在外県人とのネットワーク強化を図る。
多文化共生	27	外国人県民と日本人県民が相互の理解と協調の下、安心快適に暮らせる地域づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> 外国人県民との協働による、多文化共生手引書の作成やイベント開催等により、多文化共生意識の普及を図った。 外国人の子どもの不就学実態調査を実施し、市町の協力を得て、子どもの就学を促した。 	<ul style="list-style-type: none"> 外国人県民を含むプロジェクトチームにおいて、体験型イベント等の啓発事業を検討・実施し、多文化共生の認知度向上を図る。 県・市町、教委が連携し、外国人の子どもの不就学解消を図る体制を検討する。 外国人県民に向けた避難生活ガイドブック（やさしい日本語版）の作成や防災研修等を実施し、災害時の共助体制を強化する。

